

平成28年度 今治市河野美術館及び今治城指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市河野美術館及び今治城
所在地	今治市旭町1丁目4番地8、今治市通町3丁目1番地3
指定管理者	<p>名称 一般財団法人 今治文化振興会</p> <p>代表者 理事長 檜垣 清隆</p> <p>住所 今治市旭町1丁目4番地8</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>教育委員会 文化振興課</p> <p>TEL:0898-36-1608</p> <p>E-mail:bunka@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	<p>河野美術館は、文化芸術の振興に寄与することを目的とした施設であります。館蔵品の常設展・企画展のみならず、地域の作家の個展、グループ展及び近年では高齢者の生き甲斐づくりとしてなどの作品発表の場所として提供し、その利用件数は多岐にわたるものがあり、総括的には施設の目的達成のために非常に役立っていると考えています。</p> <p>今治城は、城郭の公開とともに郷土資料、美術品等の収集保管、調査研究及び展示を行うことにより文化向上に寄与することを目的とした施設であります。単なる城郭や郷土文化財の公開にとどまらず、利用者参加型の事業を行うなど、郷土文化財の顕彰に努めています。</p> <p>従って、河野美術館、今治城とも業務を遂行する上で、地方自治法をはじめ指定管理者関係法令を遵守しつつ、その設置目的に沿いながら、事業を実施しました。</p>	B	<p>河野美術館においては、文化芸術の振興に寄与していくという目的を、また、今治城においても城郭の公開、郷土資料・美術品等の収集保管、調査研究及び展示を通しての文化向上に寄与するという目的を十分理解していると思われる。</p> <p>また、長年当該文化施設の管理を実施している団体であり、本市の文化行政推進についても十分理解をしていると思われ、今後も地方自治法をはじめ指定管理者関係法令等を遵守しつつ、施設の設置目的や基本方針に沿って、継続して業務を実施していただきたい。</p>
利用状況	A	<p>河野美術館の観覧状況は、年間9,378人で、前年度6,915人に対し、2,463人(35.6%)増加し、観覧料金は92万6,160円で、前年度80万4,660円に対し12万1,500円(15%)増加しました。隔年開催の日本版画会今治巡回展の開催年だったことをはじめ、各事業関係者等の協力の波及効果により、観覧者数料金ともに増加しました。アートクラブランプリ今治巡回展の実施やスマイルハイスクール会場提供したことにより中高生の関心も高まり、高校生以下(無料)の入館者の伸びもあり増加率に表れています。高齢者から児童生徒まで幅広い層に利用される傾向が広まっており、今後も独創性のある企画展開催を図り、魅力ある美術館を目指します。</p> <p>一方、今治城の観覧状況については、前年度比で、観覧者数および観覧料金が105%、駐車場利用台数108%、駐車場利用料金106%となっており、いずれも前年度より増加しています。その要因として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に、城郭・歴史に対する関心が高まっている。 ・宣伝広報の成果により、今治城の知名度が向上した。 ・企画の充実により今治城の満足度が向上した。 <p>などが考えられます。観覧者数の増加を一時的なものとしないうちに、今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努めます。</p>	A	<p>利用者数は、前年度と比較して河野美術館、今治城ともに増加した。</p> <p>その増加結果の分析においては、外的要因が大きくあげられるものの、その時流にあった各館の日々の取り組みによるものも大きいと思われる。</p> <p>今後とも、来館者のニーズ把握を行い、魅力ある展示を行うとともに、周知方法の工夫も行い、利用率の向上につなげていただきたい。</p>
事業収支	A	<p>当法人では、施設の利用料金収入が当初計画より21%増加したことにより、利用料金制におけるメリットを最大限に活かすことができ、また会計処理については税理士が関与する中で適切な会計処理を行い、企業努力によって効率的な管理運営に努めた結果、今治市に150万円を寄付することができました。</p>	A	<p>税理士との相談等により適切な会計処理が行われたことは、評価できる。</p> <p>引き続き経営状況の分析を進め、適正な収支計画の立案、経費削減に努めていただきたい。</p>
管理運営体制	A	<p>当法人の人員配置の体制は仕様書のとおりであり、勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。しかしながら、管理運営の根幹を成す収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、主として各分野の学芸員の技量に負うところが多く、両館とも各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。</p>	A	<p>有資格者の配置など組織体制としては、適正に運用されている。そのことが管理運営面においてサービスの向上につながっていることは評価できる。</p> <p>現状の体制の中においても、職員の研修を積み重ね知識や技術の習得により人材育成に努めていることは評価できる。今後は、研修の成果を業務に反映されることを期待します。</p>

管理運営業務	A	<p>仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するためには、当法人の構成メンバーの大半が嘱託職員や臨時職員、アルバイトの短期雇用であることに鑑み、管理業務の手法の確立、速やかな執行、管理記録簿の充実等を図りました。</p>	A	<p>仕様書に従い各業務が各事業が適正に行われている。手法の確立、速やかな執行、記録の充実など、高く評価できる。 今後も利用者の立場に立った管理運営業務実施にあたっていただきたい。</p>
利用業務	A	<p>概ね実施計画に沿った業務が遂行できました。より一層の利用促進を図るためには、指定管理者の自助努力は当然のことながら、今後も、市観光課によるPR、モデルコースの設定、他地域との連携など積極的な事業展開を希求します。</p>	B	<p>使用許可や減免手続きは、適切に行われている。 利用促進業務においては、引き続き積極的な自主事業の実施、ホームページや広報誌による情報発信の充実に取り組んでいただきたい。 また、利用実態の把握につとめ、収集した基礎データを活用し、新規利用者の獲得やリピーターの確保につなげ、入館者数全体の底上げを図っていただきたい。</p>
その他業務	B	<p>特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移しています。省エネ対策、喫煙対策や個人情報に関する対応はそれぞれ職員の教育を行っており、職員の意識の醸成が図られています。今後ともこの状態を維持・向上できるよう施設の改善を図ると共に職員の教育に取り組んでいきます。 河野美術館では地域の文化振興を図るため、12月29日と30日、及び1月2日と3日を閉館しました。結果高校生等の書道関係者が多数来館し、指定管理者制度における美術館として柔軟な管理運営ができました。</p>	B	<p>利用者に対するサービスの向上など従前からの継続した取組みが、職員の意識醸成へもつながっていることは、評価できる。平成28年度は利用者ニーズを意識し閉館日を設定するなど柔軟に取り組んでいることも評価できる。 また各種マニュアルが整備されており適正な業務執行がなされており、重大な事故もなく、施設運営が順調に推移していることも指定管理者の努力の結果であると評価できる。</p>
修繕業務	A	<p>両施設ともに老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化は顕著であるため河野美術館では屋上防水工事を重点的に実施し市民の財産である館蔵品を守るため修繕工事致しました。事故の未然防止、利用者の要望改善、施設イメージの維持確保などを図るために、緊急性の高いものからの確に維持修繕業務を行いました。</p>	B	<p>各施設は老朽化しており、そのことを十分把握し緊急の修繕にも適正迅速に対応いただいていることは評価できる。 また、収蔵品の修繕については、平成27、28年度の2カ年契約で計画的に実施したことは評価できる。</p>
備品管理業務	A	<p>修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。利用者の要望をアンケート等で集約した上で必要な物品を購入しました。</p>	A	<p>備品管理においては、適切に管理されている。日常業務における課題を自ら発見し、事務用備品の充実を図ることで業務改善に繋げようとする主体的な取り組みは評価できる。 また、収蔵庫が十分とは言えない環境の中、工夫をして収蔵品の管理にあたり、利用者の利便性向上につなげる環境整備を行っていることは評価できる。</p>
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	<p>仕様書の定めに従い管理運営収入としました。</p>	A	<p>目的外使用の許可手続き、収益処理とともに適切に行われている。 今後とも利用者ニーズの把握、利便性の向上に努めていただきたい。</p>
自主事業	B	<p>河野美術館は、収蔵品の名品を広く地域住民に開示すると共に、地域の美術文化に寄与する様テーマを決め展示し、また地域で活躍している作家達の作品発表の場を提供する為の努力もしており、一定の成果を上げています。 今治城は、地域の学術文化の発展に寄与するため、常設展示に加えて、今治城および今治地域に関わる歴史をテーマにした特別展および所有する絵画を最大限に活用した企画展を行いました。またスタンプラリー、今治城クイズを今年度も自主事業として実施しました。</p>	A	<p>収蔵品を活かした多様な自主事業を行い地域の文化向上に貢献したことは評価できる。 河野美術館においては、「アートクラブグランプリ今治巡回展及び関連ワークショップ」が定着し、また新たな取り組みも行ったことは評価できる。 また、今治城においては、今治の歴史に関わる特別展を年2回開催した新たな取り組みは評価できる。 実施事業に対する、市民や来館者等のニーズや満足度等の分析をもとに、更なる自主事業の展開を期待します。 既存の事業についても、常に改善改良の余地を見出し、施設全体の利用増につながる魅力ある自主事業の展開に努めていただきたい。</p>

<p>地域団体との連携</p>	<p>A</p>	<p>河野美術館は文化意識の醸成や利用率のアップにもつながることから、「今治市河野美術館を育てる会」や地域の文化団体と連絡を密にし、地域の文化を振興し、その成果の発表の場として、積極的に連携に努めました。</p> <p>今治城は、「全国城郭管理者協議会」について、全国の城郭が抱える共通の課題や問題点を相互に認識し、よりよい方向へ導く方策を検討する機関として活用しています。</p> <p>「今治地方観光ボランティアガイドの会」には、総合学習、校外学習の時間や遠足の機会を利用して来城する小中学生を対象に、今治市の歴史・文化に対する知識や理解、愛着を深めてもらうために、ガイドを依頼しています。また、土・日・祝日の来城者への観光ガイドサービスについては、利用者から好評をいただいております。</p>	<p>B</p> <p>河野美術館は、従前から地域の文化団体と連携を図り、地域の方との共同企画事業、市民主体の事業も多数実施されている。こうした事業の継続的な実施は、各団体との固い結びつきによるもので、評価できる。</p> <p>一方、今治城においては、ボランティアガイドなど今治城との関わりを持った団体と互いに協力関係にあることは評価できる。</p> <p>既存の関係団体との協力関係を更に深めるとともに、新たな団体など連携の範囲を積極的に広げていただきたい。</p>
<p>利用者アンケート</p>	<p>B</p>	<p>両館ともにアンケート調査を形式的なものとしてせず、その要望に対して可能な限り対応しなければならぬという基本的な考え方に基づいて努めてきた結果、毎年度出されていたアンケートから定番の改善要望事項が一部減少あるいは皆無となり、従来からの改善要望に若干の変化が見られました。</p> <p>指定管理者としては、施設の設置目的に準じ、施設の管理運営のみならず良質なサービスの提供とともに利用者数を増加させる責務を有しています。利用者目線を踏まえて事業に取り組むことが重要であり、アンケートから浮上する利用者ニーズを早く施設運営に反映させていく必要があります。そのためには、指定管理者の自主財源での自主事業においては、人的・財的に自ずと限界があり、抜本的な改善策となる大規模改修及び展示リニューアルについて、市当局のご理解と速やかな実行を切望しています。</p>	<p>B</p> <p>利用者の評価やニーズの把握に役立つようアンケートを実施し、結果を踏まえ、可能なことから改善に取り組まれている状況は、老朽化や構造的な制限の多い当該施設の管理運営において評価できる。</p>
<p>事故・苦情</p>	<p>B</p>	<p>特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の際は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。</p> <p>また、苦情についても昨年度のモニタリングでの指摘に基づき、スタッフ一同接客対応に際し情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面に報告するよう周知徹底しました。</p>	<p>B</p> <p>特段の事故は発生していない状況である。このことは未然の防止に日々努力されている結果であると評価できる。</p> <p>また、苦情対応については、苦情は第三者の現状分析であり、運用改善のヒントになるものであり、引き続き些細なことにも気にかける努力を継続していただきたい。</p>
<p>指定管理者の経営状態</p>			<p>指定管理者として問題なく経営が行われている。</p>

<h2>総合コメント</h2>	
<p>指定管理者は、当該施設における設置目的を理解し、関係法令や仕様書にしたがって適正に業務を実施している。</p> <p>老朽化した施設で十分な設備とは言えない面がある中で、利用者により良いサービスを提供し満足度を高める努力を実施してきたことは評価できる。河野美術館においては、平成27年度に初めて実施した学生向けの取組みが定着し、これをきっかけとした新規来館にもつながりつつあり、また今治城においても企画展を開催するなど、入館者数の増加や入館者の満足度向上につながっているものと思われる。</p> <p>引き続き、利用者ニーズの把握・分析を進め、その結果を踏まえた自主事業などの取り組みを積極的に展開し、様々な周知活動を行い、更なる入館者増や文化振興推進への貢献を期待する。</p>	